公民館報
こすど
発行所　小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集責任兼印刷人　矢部藤三郎

新生活運動
住みよい郷土建設、運動について

…厚生課…

人の幸福は個人々々の健康の上にきずきあげられるものであります。健康自体が既に立派な財産であるといゝましょう。この健康を確保するために病気を防ぎ心身の能率の増進や寿命の延長を図る仕事を公衆衛生と呼んでおるのであります。この仕事は一人の力や家庭だけでは達成されないと思います。町や村部落など地域社会に住む人々の組織的な協力と活動によって始めて達成されるのであります。公衆衛生を進めて行くには種々方法が考えられますが、その中でみんなが最も希望しやり方も簡単で効果もあがりやすい仕事に蚊とはえをいなくする事業があります。蚊やはえは全く邪魔ものでありたゞうるさくて厭らしいだけの存在である。こうした蚊、はえを私達の周囲から追払って住みよい郷土を作ろうと努力している地区が、全国で三五〇〇地区もありますが、本町では特に横川浜新保水田の三部落が全員努力しております。これらの町や村では蚊やはえがいなくなって生活が健康的となり気持ちのよいものとなり伝染病がほとんど姿を消したばかりでなく、医療費や家計費が節減され、牛乳山羊乳鶏卵などの大巾な増産となり生活にゆとりができ更に広い範囲の生活改善へとたくましい発展が見られております。何と明るい素晴らしい事ではないでしょうか。今の世の中では自分だけの努力で自分の健康を守り通すことはとうていできない事です。みんなが正しい理解を持って日進月歩の科学と技術を充分にとり入れ、力を合せて実践することによってのみ健康で明るい生活が私達のものとなると思います。これが公衆衛生であり民衆組織活動であると思います。その意味合をもちまして住みよい郷土建設のため左記のような運動を強力に推進することになりましたから、各部落町内におかれましても早急に住みよい部落町内になって下さい。

● 住みよい郷土建設運動実施事項

住みよい郷土は清潔な環境からと云われております。家のまわりや職場のまわりを整理して悪い状態から健康な姿に改善し生活と生産の能率をたかめる為に次のようなことをやりたいと思います。

一 蚊とはえのいない生活環境の樹立

あらゆる団体と一般民衆の組織的協力により発生源を調査除去し薬剤を使用し蚊、はえを始めブユ、ノミ、シラミ等の駆除を行い冬季は鼠取りを実施する。

二 下水、みぞ等を整理し排水をはかる

県及び市町村をはじめ工事施行者はあらゆる建設工事に際してこれが整備に留意すると共に会社工場事業場等及び一般民衆の協力によりその保全をはかる

三 水道及び簡易水道の普及

四 特別清掃地域のある市町村は合理的な計画のもとに必要な施設を整備し糞尿ゴミ処理の完全化をはかる

五 以上の措置を基盤として一般家庭及び集団生活者に対して次の如く指導する。

1 家庭生活家庭経済の合理化をはかるため暖房洗濯の様式を合理化し住宅台所かまど風呂場便所などを改善すること。

2 日常生活を健康で快適なものとするため窓明け蒲団乾し手洗整理整頓清掃などを習慣づけ冬季は努めて日光を浴び戸外の空気にふれるよう努めること。

3 食物を衛生的に取り扱い且つその攝取に注意し中毒を防止すると共に粉食を取り蛋白質を多くし冬季のため野菜を貯蔵する等食習慣の改善をはかりまた落成式その他祝事における宴会について考慮すること。

六 観光地、スキー場、海水浴場、映画館、パチコン場など多数人の集合する場所は関係者の協力と利用者の理解によって衛生措置を実施すると共に公衆道徳の向上をはかる。

七 粉塵、有害ガス、騒音水質汚濁などの公害について関係者の協力啓蒙によってその防止をはかる。

八 人口姙娠中絶の激増を防止するため受胎調節の普及をはかる。

九 覚醒剤の害毒についてその中毒化を防止するこれらのことは何れも早急に実施すべき重要な問題のみでありますまずこの運動の最初の出発点として最も適当なものに次のような普遍的な理由から蚊とはえをいなくする運動であろうと思います。

1 蚊やはえは意識すると否とにかかわらず常にうるさい厭な存在であること。

2 駆除の実行は容易でやれば誰にでもできること。

3 老若男女を問はず体験する対象であること。

4 実行すれば程度の差はあれ必ず成功すること

5 結果が速かに現われること。

6 効果はすべての人々が認識できること。

7 結果はすべての人々に喜ばれるものである事

8 経済的効果もあること

この仕事に必要な地区組織を育成し関係団体の協力により有機的な組織活動を展開することによって一つの事項を達成しまたその目安がついたときは次々と実施の事項を決定し逐次実施に移そうとするものであります。

◁辞祝事知村北▷

新校舎落成式
知事も臨席

三校統合による新校舎の建築は去る昭和二十八年以来三ヶ年継続事業として続けられて来たが今回体育館の竣工を最后に総工費四千二百万円総坪数壱千三百六十九坪の全校舎の建築を了り十一月十九日菊花香る秋晴れの良き日北村知事始め多数の来賓を迎えて落成式が盛大に挙行された。

十一月十三日　連合婦人会が公民館に開催された会議に於て、新潟財務部小島融資課長さん長野郵政局の山田貯金部長さんのお二人と長谷川町長五十嵐局長を迎え、創業八十周年記念 国土建設郵便貯金増強運動の趣旨をお聞し今更ながら郵便貯金の力の大きいことを知られ、川村会長さん、千葉副会長さん、その他の役員の方々との意見の交換があり、いよいよ郵便貯金でもつと もつと すばらしい 住みよい明るい町の建設に御協力下さる事となった

郵便貯金で国土…郷土…建設

あなたの「郵便貯金」で
……もつと……もつと……
……すばらしく……
…住みよい町に…
…明るい町に…

小須戸町の皆様から　あづけられた
「郵便貯金」は
こんなに役立っています

一、郵便貯金の総額はざっと四千八百億円という大きなものです。このお金は大蔵省資金運用部から新潟財務部をとうして私達の町や村を住みよくする事業に役立っております。

二、小須戸町の皆様からおあづかりした郵便貯金は

1. 小須戸中学校建築に　壹千五百万円
2. 矢代田小学校建築に　貳百五拾万円
3. 小須戸小学校建築に　壹千八百万円
4. 小須戸小学校体育館　屋内運動場に　一千万円
5. 小須戸町営住宅建築に　六百万円
6. 水道改修工事に　六百万円

どれも年六分三厘の低利で十七年間又は、六年間の長期償還

小須戸町連合婦人会
◇国土…郷土…建設に◇

……住みよい　明るい町の……
……建　設　に　一　役……
いよ〳〵　団　体　貯　金　結成に
協力されることになった

家庭看護と予防について

上手な看護は病人の心身をさわやかにし看護人のやさしい微笑は病人に立直る勇気を起させます。一寸の注意や心づかいが病人を思いがけぬ危険や苦しみから救いうることもあります。家庭看護はどなたでもぜひ身につけておきたいことと思います看護人はなんと云っても病人に身近い肉親の者が暖い愛情と熱意でしかも正しい看護の知識と技術とを持って看護にあたることが病人を快復に導く最善の方法と思われます。その為には少くとも家庭の主婦の方は急場に及んでもあわてることなく適切な手当の出来る様平常から看護の知識と技術を修得することが必要であること〻思います。不幸にして家庭に病人が出た場合にはその症状を注意深く観察して病気の種類を判断しすみやかに適当な手当をすることは非常に大切なことであります。日増の寒さでこれからは大人も小人も見舞われやすい風邪の季節になります。風邪は万病のもとといわれる位余病を併発し易くいろ〳〵な化膿菌が活動しはじめて中耳炎、気管支炎、肺炎などを起したり又せっかく治った結核の再発なども起し易く、カゼ位と油断しないで充分の安静を保つことが大切です。特に乳児の風邪は局所だけでなく下痢や気管支炎などの障害が多く全身的になることが多いのですから余程注意していたゞかなければなりません。今年は数年ぶりに悪性のジフテリアが流行して居り死亡率も大変高いように云われて居ります。ジフテリアは感冒や扁桃腺炎と区別がつかないのが普通です。風邪の様な症状の時には咽喉を見ることだけは忘れない様にして頂きたいものです。十一月二十二日からジフテリアの予防注射をも実施して居ります。生後六ヶ月の者来年小学校へ入学する者、来年小学校を卒業する者は必ず予防注射を受けて下さい。これらの病気の流行期には出来るだけ病人に近付けないこと混雑する場所などへ出ることもなるべくさけ他人のセキやクシャミに吐き出される病菌を口や鼻にあびない様又空気浴や日光浴をして皮膚を鍛錬しておくことなども立派な予防法です。

厚生課

第四回 珠算競技大会

盛会裡に終る

去る十一月六日　公民館において小須戸町商工会主催で第四回町民珠算競技大会が開催された。家庭は勿論、社会に珠算が重要視され、年々競技に参加する方も多くなり今回も腕に覚えのある方々小学校から中学校高校生百名に近い参加者によって神業としか考えられない妙技が展開され正午過ぎ会を終了した。

入賞者次の通り

◉小学校の部

四年生一等　井上温子
二等　長井久子
三等　田巻久子

◉中学校の部

一等　吉岡利昭
二等　柴田良子
三等　高橋節子
四等　古川晋一郎
五等　須藤幸子
〃　山田京子

◉一般の部

奨励賞　村山カズ子
宵木チヨ

五年生一等　田巻リム
二等　武沢スイ
三等　原レイ子
〃　笠原英子

六年生一等　五十嵐光江
二等　関口幹雄
三等　田中功夫

三等　井上輝雄

◉一般の部

優勝賞　村山カズ子
宵木チヨ

小須戸町
読書クラブ解散す

昭和二十四年熱心な人々によって設立された小須戸町読書クラブは満七年間の業績を残してこゝに十二月末で発展的解散することになった。

最初は少人数によって作られたクラブ員も翌年の九月には、三〇〇名近い会員となり終戦後混沌として心のよりどころもない時に、人生宮みの限りない糧をあたえてくれた。

以来世話下さった方々の献身的な努力と、未来の小須戸町公民館図書室の抱負を持ちつゝ歩み来て現在の公民館図書室の尊き土台をきずいてくれた。

今や公民館図書室も一般町民の周知するところとなり今後一層の発展を期待し思い出多いクラブ活動に終止符を打ったのである。

中学昇降口に
雨樋寄附

小須戸町連合婦人会より、昨年中学校生徒昇降口先の道路をコンクリートの立派なものにして、中学生徒より大変感謝されておりましたが、この度、又生徒昇降口の軒先から雨垂を受けて出入りしておるので文化祭において、喫茶室を開いた時の収益を出して軒先八間余りの雨樋を取り付けて下さって生徒より感謝されておる。

なお十月一日の新潟市大火の際早速婦人会では会員の皆さんにより罹災救援義捐金として多額の金品をおあげして罹災者より感謝されている。

家庭看護と予防について

十二月購入図書

〃　現代露の蝶
〃　天才永岡十段
〃　夫婦善哉
〃　孔雀夫人
時代　銭形平次捕物全集
〃　許嫁の罪
〃　荒獅子判官
〃　菩薩飛脚（下）
ユーモア　デブ亭さん記録　青春監獄
〃　日本文学アルバム

年末だ！
火の元
戸じまり
御用心

〃　夏目漱石
〃　雨にもめげず風にもめげず（仏く少年少女の記録）
〃　柔道五十年
〃　回想徳田球一
〃　世界の裏街道
隨筆　代議士（わが国会紳士の生態）
教養　俳句への道
〃　眠られぬ夜のために
〃　いのち守る日日
〃　天声人語
歴史　世界ことばれ話
ホンヤク　三国志
〃　野性の呼び声
〃　黒猫
〃　零八の十五（上中下）
芸術　音楽の景（五）
〃　アサヒカメラ講座（七）感光材と現像、引伸
辞典　新聞語辞典
雑誌　文芸春秋漫画読本（七）
〃　文芸春秋十二月号
〃　キネマ旬報十一月上下旬号
〃　婦人朝日十二月号
〃　オール読物新年特別号

寄贈御礼

◆此の度二番町の須藤書店より「図書携出券」五百枚寄贈。
◆郵便局より図書室へ「友情は海を越えて」寄贈

霜月句会報

小須戸町俳句同好会

コスモスや大藁屋根の旅人宿　素堂
立冬や湯沢に雪の降る便り　杏水
小春日の庭に乾したり子等の下駄　水月
芦刈るや張網見廻る舟の人　一灯
稲抜きを終いて一日湯治かな　星灯
荒縄につるし電燈稲埃り　静堂
刈上げに行けずに餅の届けられ　ひさ
夕ざれば旅愁の霧をふこうとする　いさを
芦刈るや鼠昼の芦の乾く音　香月
寒む空に寂として冴ゆ三日月　芳村
冬構へビニール窓に陽の温くと　石秋
冬雨の路地に曳きこむ肥車　虚秋
時雨るゝや行商人の上り込み　渓灯
著ぶくれて居し日曜の使丁かな　山葵
バス客の隣は空いてうそ寒き　流水

（投稿）

登校延期を續る問題

渡辺助一郎

公民館報に政治的な記事を登載することもどうかと考えたが、元来公民館活動は自由な立場から政治、教育、文化、経済等凡ゆるものをより多くの住民が消化し、社会良識と行為を豊富にするところに意義と狙いがあるとすれば、従来の小須戸町公民館報の編集についても漸進的な脱皮、飛躍があってよいのではないか、何の問題にしろ編集当局が一方に偏しない立場を執るとするならば、スペースを割いて一般投書欄を設け、紙面の許す限り投稿を生のまゝ載せて、或る場合には紙上討論も行わせて町民の関心と批判力を培わせることも無意味でなかろう。

偖て現在町で話題の焦点となっているものは何か？と言うと、下町を中心とする新小須戸校への低学年児童の登校延期に纏る校具移転阻止の行動現象であろう。昨年の議会リコールの際でも法内斗争に終って実力行使にまで発展しなかったが、今回その枠を破った点で大方の町民は刮目したのではなかろうか。筆者は努めて客観的な立場をとりつゝ、ことこゝまでに到った経過に觸れ私見を加えて良識ある町民の批判を望みたい。

今春四月末日町議会は住民から選挙の洗礼を受けて議員の顔振れも更新し、劈頭に三校統合の線を継続し、完結することを審議決定した。爾来残工事たる体育館建設を当局、教育委員会、議会、一般町民の協力のもとに十一月中旬竣功せしめた新校舎一切の建造の完成が間近かになってから、旧小須戸校所在地附近住民を中心とした。

一、全校児童の三学期末まで新校舎への登校延期

二、旧小須戸校廃校に伴う下町繁栄策の実現化。

を要求する運動が展開され、文書に依る要請が町当局、議会に提出された議会は抽象的ではあったが、町当局、議会代表、教育委員会代表の三者構成依る折衝団を設げて運動展開母体と折衝奮処する様要請の議決を行ったしかし乍ら不調に終った

前記一の点は議会として何等権限を附与されていないが、二については無関心たり得ないし、一方利害を共にする立場から旧小須戸校学区内出身議会議員は、数次に亘って会合を重ね一応の結論を出して運動母体とも非公式折衝を試みたが之又遺憾乍ら諒解点に達し得なかった。ことに学校教育に関しては地方教育委員会の管掌にあって、地方公共団体の長（町長）並に地方議会も全く干渉出来ないのが新制度の建前である。従って幾多の経緯と経過があって運動を展開する人々の気持を諒とする点があっても、児童統合の件は教育の原則、理想、其他一切の検討の中から町教育委員会が決定を降すべきであり一任すべきであろう。所謂一餅は餅屋に—の譬の如く、ところが竣功式を目前にし再度、若干運動母体の性格が変り、内容も実情論一本の姿で）請願書が町当局、議会に提出された。十一月十六日の臨時町議会はこの問題を再度採上げて教育の原則、方針は枉げられぬとしても、全町平和の為に低学年児童を対象に、許容される最大限の考慮、善処を要請（町教育委員会に）することの意見集約をみた。町教育委員及教育長は当日参与として終始議会に臨み、一片の釈明、見解も発表されず に黙認（認？）した。運動展開者側も町当局、議会の態度を是とし諒として一応活動に終止符を打ち、十九日は多数の来賓町民各位欣然一体となって新校舎の竣功を祝賀した。この限りに於ては至極芽出度く移行した訳だが町教育委員会は寸時を惜しみ一切の手続、段階（何等措置を講ぜず即続合）を再確認して着々行動を起した自らの職責と権限で決定されたことを謂（これ自体は異論がないとしても、信義誠実に反するが如き言動、誤解を受け易い挙措、一般町民に対する啓蒙の足りなかった点に痛烈な批判が起ったことも当然であろうそれが議会の純情家や、運動展開分子の感情を刺激し混乱せしめたことも自然派生的に已むを得ない。二十四日町議会と町教育委員会との協議会で、教育委員会は以上の点を自認され、自己批判も行って然る後、十六日の議会要請を最終段階でどこまで考慮し、許容するかの再検討の結果、一年生（自由意志にもとずく）の登校留保の線を打出した斯くして閉校式も予定の方針で挙行され、併行して登校反対の運動も活潑に再燃した。以上が大ザッパな経過であると申しても大した異論のないところであろう。

てゝ情熱の冷却、町民お互の個々反省の裡に事態も收拾されて行くであろうが、感情が先行する一致点の見出し難き教育問題で、政治との接点探究をすることが、最終的に学童と教職員にシワ寄せされること警告したい。将来の町発展を希求しつゝ擱筆する。

一九五五、一二、一

小須戸郵趣会結成!!

"入会歓迎"

切手に趣味のおもちのは皆さんが、かねて希望していました郵趣会は十一月九日、めでたく結成しました。

切手を集めるということは、たとへ無方針で、たゞ漫然と集めているだけでも結構たのしいものですが、郵趣会は、よりたのしく皆さんが集められるよう、これから趣味者の手や足となって活動するわけですが、これから切手収集しようとする方、又すでに収集中の方のこらず入会をおすゝめいたします。

新切手の入手に苦労されたと思いますが、郵趣会では会員の切手等の仕入はもとより左記の事業を行い会員の便宜を図ります。

入会金は不要、但し切手購入資金として一口五〇円（いくロでも可）を添へ事務所又は郵便局へお申込み下さい。

左記

◎名称
小須戸郵便切手趣味の会

◎事業計画
1 切手交換会の開催
2 切手展の開催
3 郵趣研究会の開催
4 機関誌の発行
5 新切手の購入
6 郵趣関係図書の購入

◎事務所
浜屋方、（小須戸町二の町）

◎役員
顧問 小須戸郵便局長
代表委員 海津良助
〃 委員 小見浜雄
〃 東樹東一郎
〃 高橋福蔵

本当の生活改善

お宅の一年の汗の結晶は如何でしたか。豊作豊作のかけ声は戒記者をしては、その金の行方が電気洗濯機やテレビに化けたと云って、あたかも農村が無計画のぜいたく三昧に暮らしているかの様に報導し、又一部の説では、農家の台所改善や湯殿の改善は、必要以上に経費が積まれた。競争改善であり、みてくれ改善であり、つき合い改善と批判されていますが、果して私達農村の実状はそうでしょうか。

私達は少しでも時代的に生き甲斐のある豊かな生活をめざして、自分の生活をジソクリと、反省しその中から問題を発見し改善に努力し、しかも万一経費を要したとしても、それを更によりよいものを生み出すために計画して努力すれば、それは単なる経費のカケツ放しとはならずし立派な改善として再生産に生きて来ると思います。（生み出した時間と農作業だけでなく、家族の話合い、読書、子供の話をきゝ相談相手となる事も一つの方法です）又他方立派な施設だけが完備されても家族の協力と理解、正しい、結婚、嫁姑の和、家庭教育等は何もよき家庭、明るい村作りの根幹となる事を忘れては、片ちんばな改善であり封建的な考えに支配されて、家族の人権無視の傾向は来客に厚く、家族に薄く家族の理解協力の不足は稍もすれば人対象の問題の惹起が多い様に生じられますが、血縁に依って結ばれた明るい家族、この親密な明るい血縁の間柄に拾て、お互いの人格を尊重し合い、助け合う雰囲気が培はれ、社会に於ての人との接触の基礎とまた将来の日本を背負う人々の土台も、又ありのまゝ家族相互が接し合う間に培はれるのであります。

まして、この物心両面が一歩〳〵築き上げられる家庭こそ、幸福のあふれた改善の姿といわれましょう。

生活改良普及員堀

郵便局便り

年賀状や、年末の小包はお早く

御家庭の皆様お元気ですか。今年も年末の忙しい季節が近づきました。年末となると年賀郵便、贈答用小包、年末の薬務用書類など、一時にどっと出まわり郵便局は大変混雑します。

皆様の年賀状や小包が遅れないよう早目にお出し下さい。

◎年賀状は十二月二五日項まで。

◎年末小包は一二月二〇日項までにお出し下さい。

新年の御挨拶は電報で

年賀電報 十二月十日より受付

毎年多数御利用をいたゞいております。年賀状電報は十日より受付を開始致します。年内受付は三十円で年賀電報がうたれます。

（例文の主なもの）

◎署号）

●イチウ

謹ンデ新年ヲオ祝イ申シアゲマス

●イハク明ケマシテオメデトウゴザイマス

●イフヒ謹ンデ新年ノ御挨拶ヲ申シアゲ、益々御繁栄ヲ祈リマス

●イタテ新年オメデトウゴザイマス。相変ラズオ引立ヲオ願イイタシマス

●イセニ謹ンデ平和ノ新春ヲオ祝イ申シアゲマス

年賀状版画コンクール

年賀状は年をおって盛となり、国民生活に潤い一つの流れを与えています。古来から版画芸術が年賀状と密接な関係をもって発達して来たことにかんがみ、更にこれを助長して年賀状を一層床しく美しいものとすると共に一面一般及び青少年の情操教育に資するため、郵政省では年賀コンクールを開催することになりました。その地方予選として長野郵政局では次の要領によって広く懸賞募集をするから多数応募して下さい。

(一) 題年賀状に想応しいもの

(二) 版式、本版、ステンシル、芋版、ゴム版、エッチング、クレンパスその他自由

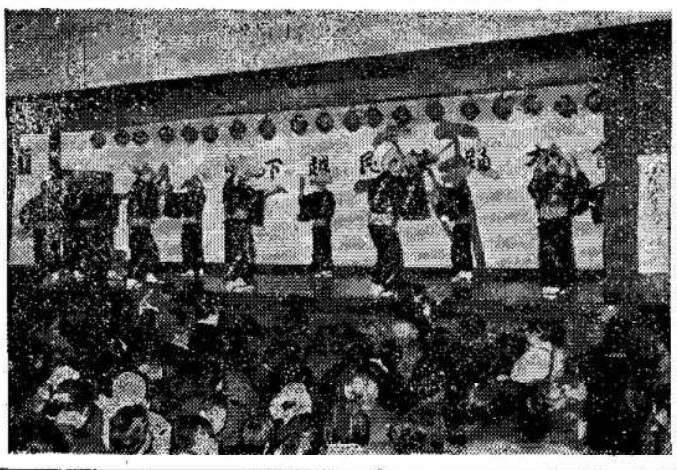
(三) 用紙官製はがき

(四) 応募方法 作品には裏面に住所、氏名、年令、職業を小中高生の部は学校名、学年を明記

(五) 送り先、長野局区内長野郵政局郵務部「版画コンクール係」

(六) 〆切十二月二十日

その他当選作品版権は主催者に帰属、応募作品は返さない各部優秀作品は中央コンクールへ出品入選作品は賞品贈呈詳細は郵便局へお尋ね下さい。



「共同募金民謡大会」
小須戸甚句協会の皆さん
吉田義人氏撮影

共同募金

残すところ僅か

共同募金、新潟市大火罹災者救援義損金品について嘱託員、婦人会を初めとして諸団体の絶大なる御協力を厚く御礼申上げます。尚赤い羽根募金額まで一段の御協力をお願い致します。

共同募金
三十年度目標額
九六、一五〇円
実募金 十一月十日現在
部落募金 六二、四五五円
大口募金 一、〇〇〇円
街頭募金 四、一七〇円
興行募金 一二、九五〇円
その他 四、三〇二円
計 八四、八七七円

新潟罹災者救援
義損金品
部落寄付四一、〇八〇円
天ヶ沢青年団 二、〇〇〇円
物品点数 六点

文化祭入賞者

生徒作品の部
長町賞
佐々木正光中学
間野知子〃
習字 佐藤八重子 小須戸校
工作 古田道夫〃
画 児玉忠夫 定校
教育委員会賞
青木幸雄中学
星野八重子〃
森内紀一中学
佐藤 仁〃
図画 高橋忠次郎 小須戸校
手芸 小日向悦子〃
書 会田芳江 定校
〃 竹内淳一
彫刻 高橋弘二
和裁 森田洋子

菊花の部
町長賞
近藤弘威 小須戸
一等 保科三志郎 古木
喜平 村山又市
馬場直衛
余技作品の部
町長賞 坂井石平 小須戸
書 梅津久五郎 絵画
福永茂明 彫刻
俳句の部
一等 八木蜂子
二等 五十嵐ひさ
三等 竹石静花 内山越楼 簑和灯流
農産物の部
町長賞
柿 高山三四治 新保
一等 丸山晃一 簑和愛子 高橋武志 吉井孝一 大野みと 本望力 会田良雄 野崎幸子

四市四郡柔剣道大会

◎剣道の部
一位 小須戸Cチーム
二位 金津チーム
三位 味方チーム

◎柔道の部
一位 新潟西警察署
二位 庄瀬チーム
三位 小須戸Bチーム

◎柔道（少年）の部
一位 白根チーム
二位 白根中学校
三位 新津中学校

個人試合

◎柔道有段者の部
一位 本間昭 新潟
二位 遠藤芳治
三位 渡辺時夫 小須戸

◎柔道無段者の部
一位 橋本静 白根
二位 大関和栄 小須戸
三位 新保峯男 庄瀬

◎柔道少年の部
一位 武田増郎 白根
二位 長谷川健 新津
三位 小林吉秋 白根

◎剣道三段以上の部
一位 高野藤一 小須戸
二位 宇野隆 新津
三位 高野幸夫

◎剣道二段以下の部
一位 鶏卷初一 白根
二位 石井豊治 金津
三位 加藤友春 小須戸

◎柔道の部（少年）
努力賞 新津中学校
敢斗賞 渡辺公夫 小須戸

第四回 家庭看護法講習会

とき 12月11日 午前9時～4時
ところ 中学校
講師 日赤谷美津枝先生
どなたも気がねなしに受講が出来ます
主催 町婦人会 後援 公民館

山の手

勤労感謝祭

矢代田分館では去る二十三日小学校で山の手勤労感謝祭が開催され、学童作品展覧会、山の手特産物展示、活花、写眞展等、多さんの催しが行われ学童作品展覧会には次の児童が授賞された。

町長賞
習字 神村芳枝
教育委員会賞
手芸五年 武沢スイ
工作四年 伊藤定則
公民館長賞
図画三年 星田孝子
〃 二年 本多和雄
〃 一年 星野いつ子

十二月巡回文化映画

毎月公民館で巡回しております、文化映画は分館や部落会館で開催致し多数の皆さんより観覧を戴いております。

視聴覚活動により多数の皆さんより、いろ〳〵なことを学んで戴いたり楽しんで戴くために活動をしておりますので、子供さんだけでなく、是非多数の成人の皆様より観覧して戴きたいと思います。

(一) 十二月巡回映画フェルム題名

(イ) 心の晴着

(ロ) プラスティック

(ハ) 絵を書く子供達

(二) 巡回期間
十二月二十日より二十六日まで

(三) 解説

▲心の晴着
相愛の男女が結婚して新家庭をもち、夢のように一年が過ぎるまでの経緯の中に結婚改善と家族計画の問題をおりこんだ劇映画。

結婚改善や家族計画の必要性を強調したり、その具体的方法を知らせようというのではなく、その実現に直面した場合の悩みとこれを克服する過程を描き、この問題の再検討に資しようとする映画で是非多数の皆さんから御覧なって戴きたい。

出生・死亡

出生 十月分

（小須戸）江部秀雄、高橋あやめ、五十嵐博幸、小林勇次郎、捧勇二、関口護、久保惠子、中沢まゆ子、中野正子、武沢通子、保科幸江、木伏君子、吉井眞理子、川瀬孝子、小林栄子
（新保）一本鎌セイ子
（鎌倉）佐藤沙波
（小向）高野操
（天ヶ沢）土田秋雄
（水田）吉田寿江

死亡

（小須戸）森内申五、小川ヒロ、中沢ヨシ、西脇歳太郎
（新保）高山スイ、坂井シマ、坂井清六
（天ヶ沢）横山美智子、土田健三
（水田）横山キエ

出生 十一月一～二十八日

（小須戸）村山三郎、五十嵐澄子、八木一彦、田中繁夫、坂下智子、西村義彦、小林紀子
（新保）八木啓子
（鎌倉）山崎紀子
（小向）中野晴美
（天ヶ沢）加藤要子
（鎌倉）斎藤稔
（矢代田）加藤豊

死亡

（小須戸）吉村ヤマ、石部千鶴子
（鎌倉）小柳ヲソ、板谷泉
（水田）佐藤光栄